

令和元年度 社会福祉法人龍ヶ崎市社会福祉協議会 事業報告書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

【1】 会議等

	会議の名称／開催日	案 件
理事会	令和元年6月7日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・佐貫西口支所の設置及び管理に関する規程について ・平成30年度事業報告並びに決算について ・基金等積立状況の報告について ・評議員会の招集について
	令和元年6月28日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・会長、副会長の選定について
	令和元年11月15日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度上半期事業並びに収支状況報告について ・令和元年度補正予算について ・評議員会の招集について ・評議員候補者の推薦について
	令和2年1月22日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉大会における顕彰について ・評議員会の招集について
	令和2年3月24日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・経営推進プランについて ・規程の改正について ・令和元年度補正予算について ・令和2年度事業計画並びに収支予算について
評議員会	令和元年6月28日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・佐貫西口支所の設置及び管理に関する規程について ・平成30年度事業報告並びに決算について ・基金等積立状況の報告について ・理事及び監事の選任について
	令和元年11月26日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度上半期事業並びに収支状況報告について ・令和元年度補正予算について
	令和2年3月30日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・規程の改正について ・令和元年度補正予算について ・令和2年度事業計画並びに収支予算について
監 査	令和元年5月21日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度決算並びに法人運営状況について

【2】 事業

企画広報事業 【自主事業】

1. 広報啓発事業

(1) パンフレット発行

当会の運営状況や各事業について広報活動を行うことで、当会の活動に対する理解と会費への協力、ボランティア活動に対する参加促進を図った。

<実績・効果等>

会員増強期間（7月）に合わせ、当会の活動や事業について市民の理解と協力を求めるためのパンフレットを作成し、市内全世帯に配布した。

(2) ホームページ運営事業

「しゃきょうだより」と連動しホームページを公開することで、当会に関する情報や地域福祉活動の状況について随時閲覧できる体制を整備している。

アドレス <http://www.ryu-shakyo.jp/>

2. 社会福祉大会事業（ボランティア連絡協議会との協働事業）

令和2年3月7日（土）に社会福祉の発展に功績のあった方々の顕彰を行うとともに、会場内に市内小中学校児童生徒による標語作品や長寿会員によるつるし雛の展示を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により中止とした。

<実績・効果等>

顕彰	社会福祉功労者表彰	48件
	善行青少年表彰	1件
	社会福祉協力感謝	5件
	標語入選者表彰	17件

※ 龍ヶ崎市役所ロビーや各コミュニティセンターに標語入選作品を展示した。

ボランティアセンター事業

1. ボランティアセンター事業 【市補助事業】

(1) ボランティアセンター運営

ボランティア活動を行う個人やボランティア団体などが、研修会・会議・作業等自由に利用できるコーナーを整備し活動を支援した。

また、ボランティアに関する情報を収集し、地域における活動者やこれから活動を始めようとする方の相談に応じるにより地域活動の振興を図った。

<実績・効果等>

延利用者数	5,885人（行政関係の会議等を除く）
相談・紹介件数	29件

(2) 福祉出前講座

ボランティア連絡協議会等との連携により、学校や公的機関で行う福祉学習・講座等に講師や経験者を紹介するとともに、学習プラン等について相談に応じるにより福祉学習の支援・福祉活動の普及を図った。

<実績・効果等>

支援活動件数	45件
延派遣人数	282人
支援内容	点字、車椅子、アイマスク、手話、高齢者/障がい者疑似体験

(3) ボランティア講座事業

ボランティア活動の第一歩として、ボランティアの基本的な知識と技術等を習得することを目的とした音訳講座を開講した。

<実績・効果等>

音訳講座	実施回数	9回（令和元年9月10日から令和2年2月25日まで）
	受講者数	10人

※ 令和2年3月28日（土）に災害ボランティア入門講座を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により、中止した。

2. ボランティア振興事業 【自主事業】

(1) ボランティア連絡協議会活動支援

多くの市民による、市内のさまざまな団体で構成される龍ヶ崎市ボランティア連絡協議会を助成し、協働事業を開催することで、当市のまちづくりにおけるボランティア活動の振興及び市民への啓発を図った。

<実績・効果等>

登録団体数	37団体
事業	・ふれ愛交流事業（ふれ愛キャンプ、ふれ愛広場、ふれ愛クリスマス） ・情報紙発行（年4回） ・小中学校等福祉学習への講師派遣

(2) イベント用品貸出事業

地域における福祉活動や交流などを目的とした自主的活動を支援することで地域におけるボランティア・福祉活動の振興と市民交流の促進を図った。

また、それらの事業に際し各種イベント用品の貸出等により、相互理解に基づくコミュニティづくりを支援するとともに、会費収納率向上の一助となるようPR活動の充実を図った。

<実績・効果等>

イベント用品（テント、大型鍋類、せいろ、フライヤー、イベント用品 など）	
貸出件数	159件（うち、トラック貸出 21件）
貸出先	住民自治組織、コミュニティセンター ほか

(3) ボランティア保険

ボランティア登録者が安心して活動するため、ボランティア保険に加入する。また、各地域で自主的に実施されるボランティア行事に係る保険（全国社会福祉協議会の取扱）の進達を行った。

<実績・効果等>

ボランティア活動保険	61件（団体38件・個人23件）
行事保険	31件
送迎サービス補償	3件
福祉サービス補償	8件

3. 青少年ボランティア育成事業 【自主事業】

(1) ジュニアボランティア育成事業

個人登録を行った小中学生を対象に、主に参加・体験型事業を実施し、地域における将来のボランティアリーダーの育成を図った。

<実績・効果等>

実施期間	7日間（7月～8月）
参加者数	60人
事業内容	ふれ愛キャンプへの参加，障害福祉サービス事業所利用者との交流，音訳体験，盲導犬ユーザーによる講話，防災バスツアーなど
効果	障がい者との交流，音訳体験などを通して，他者を思いやる心を養うことにつながった。また，防災への関心が高まった。

(2) 高校生ボランティアスクール

主に市内に在住・在学する高校生を対象に，ボランティア体験を通してボランティア活動への関心，福祉に対する理解を深め，地域におけるボランティアリーダーを育むことを目的に，ボランティアや関係機関との協働によるボランティアスクールを開催した。

<実績・効果等>

実施期間	9日間（7月～8月）
参加者数	56人
事業内容	ふれ愛キャンプ，保育園・高齢者施設での体験など
効果	現場での体験を通して，ボランティア・福祉に対する理解を深めることができた。

ふれあいのまちづくり事業

1. ふれあいネットワーク事業 【自主事業】

地域ごとに担当者を配置し，地域へ赴き地域の方々とのコミュニケーション等を通し，地域のふれあいや活動等の情報を教えていただくとともに，福祉やボランティア等社会資源に関する情報の提供により，地域の方々による主体的活動を支援し，地域のネットワークづくりを推進した。また，当社会福祉協議会に関するPRを行い，活動に対する認知度の向上に努めた。

<実績・効果等>

訪問回数	112回
訪問先	コミュニティ推進協議会福祉部会，自治会・町内会等の役員，ボランティア関係者，長寿会
内容	福祉部会の会合・事業，地区祭り・交流等の地域行事，防犯・防災活動，コミュニティセンターの行事
ホームページへの紹介	10件
しゃきょうだよりへの紹介	13件

2. ふれあい相談サロン事業 【市補助事業】

市民の様々な相談に対し，総合的に対応することを目的とし，関係機関との連携やニーズに即したサービスの提供により，市民が気軽に利用できる相談窓口として相談所を運営した。

(1) 心配ごと相談

<実績・効果等>

開催日数	24日（第1・3火曜日） 13時30分から16時30分まで（最終受付16時）
相談員	心配ごと相談員
相談件数	30件
相談内容	生計，家族，住宅，健康に関するもの

(2) 法律相談（要予約）

<実績・効果等>

開催回数	24回（第2・4金曜日）
相談員	弁護士
相談件数	63件
相談内容	金銭に関するトラブル，相続，離婚に関するもの

3. ふれ愛給食サービス事業 【市補助事業】

ボランティア（調理ボランティア，宅配ボランティア）の協力により，市民交流の促進による引きこもり防止と安否確認等を目的として，市内在住の75歳以上のひとり暮らしの高齢者に対し昼食の宅配を実施した。また，宅配にあたり馴柴小学校と城ノ内小学校の協力により年6回利用者到手紙を送付し，利用者から大変喜ばれた。

<実績・効果等>

開催日	南班 毎月第1，3木曜日 / 北班 毎月第2，4木曜日
利用登録者数	186人
延宅配件数	3,952件
ボランティア	調理 19人（1団体） ・ 宅配 50人

4. 交流サロンりゅうの運営（中央支所内） 【市補助事業】

地域に暮らす高齢者，障がい者，育児中の親子などが安心して暮らし，健康で生きがいのある生活を営むことができるような交流サロンを運営した。

また，多くの方々に利用していただけるような事業の企画・実施や効果的なPRを行い，利用促進を図った。

<実績・効果等>

中央支所	開設日数	283日
	延利用者数	278人
	（会費受付 20件 / ボランティア相談・受付 5件 / ふれあい相談サロン受付 1件 / 車椅子貸出 13件 / 敬老会記念品引換 174件 / きずなBOX 13件 / その他 52件）	
交流サロンりゅう	開設日数	257日
	延利用者数	7,434人
	（※ 内，77名が3月にバス待ち・休憩で利用）	
	延利用団体	5団体

- ・いきいきヘルス体操（毎週月・木曜日）
 - ・健康マージャン（毎週火曜日）
 - ・太極拳（毎週木曜日）
 - ・いきいき健康倶楽部（隔週火・水曜日）
 - ・思い出を語ろうかい（隔週火・水曜日）
 - ・スポーツ吹き矢講習会（隔週土曜日）
 - ・折り紙（毎週水曜日）
 - ・卓球サロン（毎週土曜日）
 - ・童謡（隔週土曜日）
- カレーの日（毎月第2・4金曜日） 21回実施／555食を提供
 そばの日（毎月第1・3金曜日） 20回実施／506食を提供

5. 善意銀行運営事業 【自主事業】

善意に基づき寄せられた金品の預託・配分を通して当市における社会福祉活動の振興を図った。

<実績・効果等>

- ・高等学校入学準備金の支給

生活困窮世帯の支援を目的とし、龍ヶ崎市の学習支援事業を利用する方を対象に高等学校への進学の前準備金として祝金を支給した（1世帯1万円）。

支給件数 16件

- ・NPO法人フードバンク茨城への支援

緊急かつ一時的に食品の提供が必要な方への支援を行う上で連携しているNPO法人フードバンク茨城に賛助団体加入費相当額（1万円）を寄付した。

地域福祉推進事業

1. 生活支援事業 【自主事業】

(1) 災害見舞金事業

龍ヶ崎市、日本赤十字社龍ヶ崎市地区との連携により、火災等の災害にあった世帯に対する見舞金を支給した。

<実績・効果等>

見舞金支給額	半壊・半焼	10,000円	全壊・全焼	20,000円
支給件数	火災（半焼）	0件		
	（全焼）	3件		

(2) 交通遺児支援事業

交通事故により親を亡くした遺児の小学校、中学校卒業に際し、茨城県社会福祉協議会との連携により支度金を支給するものであるが、該当者がいなかった。

<実績・効果等>

支度金支給額 60,000円（県社協から50,000円・市社協から10,000円）
 ※令和元年度においては該当なし。

(3) 福祉機器、福祉車両貸出事業

一時的に車椅子や介護機器が必要となった市民の方に対し、無料で短期間の貸出を行うことにより、地域生活や在宅介護を支援した。また、車椅子使用者が通院等の移動に際し、車椅子に乗ったまま搭乗できるリフト車両の貸出により在宅介護を支援した。

<実績・効果等>

車椅子	126件
福祉機器（シャワーチェア，4点支持杖，歩行器など）	11件
車いす用福祉車輛	33件

2. 生活福祉資金貸付事業 【県社協委託事業】

所得の低い方，障がいのある方等に対し，資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより，その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図った。なお，実施主体である茨城県社会福祉協議会から事務委託を受け，当市における貸付申込世帯の相談や進達を実施した。

<実績・効果等>

全相談件数	173件	全貸付件数	5件
食料提供件数	48件		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響による休業，失業等により収入が減少した方への特例貸付（3月25日～） 相談件数 24件 / 申請件数 16件

(1) 総合支援資金

離職した方等，日常生活全般に困難を抱えており，生活の立て直しのために継続的な相談支援（就労支援，家計指導等）や生活費及び一時的な資金の貸付を必要とし，自立が見込まれる世帯の相談に応じた（生活支援費，住宅住居費，一時生活再建費）。

<実績・効果等>

生活支援費	相談件数	13件	貸付件数	0件
住宅入居費	相談件数	1件	貸付件数	0件
一時生活再建費	相談件数	0件	貸付件数	0件

(2) 福祉資金

所得の低い世帯，障がいのある方のいる世帯又は高齢者世帯に対し，日常生活を送る上で，又は自立生活を資するために，一時的に必要であると見込まれる費用の貸付に関する相談に応じた（福祉費）。

また，緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に費用の貸付けを行った（緊急小口資金）。

<実績・効果等>

福祉費	相談件数	2件	貸付件数	1件
緊急小口資金	相談件数	13件	貸付件数	4件

(3) 教育支援資金

所得の低い方に対し，就学のための資金（教育支援費）や準備資金（就学支度費）の貸付に関する相談に応じた。

<実績・効果等>

教育支援費	相談件数	4件	貸付件数	0件
就学支度費	相談件数	2件	貸付件数	0件

(4) 不動産担保型生活資金・要保護世帯向け不動産担保型生活資金

一定の居住用不動産を有し、将来にわたりその住居に住み続けることを希望する高齢者世帯に対し、当該不動産を担保とし生活費の貸付に関する相談に応じた。

<実績・効果等>

不動産担保型生活資金	相談件数	0件	貸付件数	0件
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	相談件数	1件	貸付件数	0件

3. 臨時特例つなぎ資金貸付事業 【県社協委託事業】

離職者を支援するための公的給付制度又は公的貸付制度を申請している住居のない方に対し、当該給付金又は貸付金の交付を受けるまでの生活費の貸付に関する相談に応じた。

<実績・効果等>

全相談件数	0件
貸付件数	0件

4. 緊急小口貸付金事業 【自主事業】

昨今の厳しい社会情勢を背景とした雇用環境の悪化や高齢化社会の進展等による被保護者が急増しているため、生活保護費の支給事務が完了されるまでの間において、緊急一時的な小口資金の貸付を行った。(貸付限度額 1世帯につき20,000円まで)

<実績・効果等>

貸付件数	21件
貸付総額	388,000円

5. 日常生活自立支援事業 【県社協委託事業】

認知症高齢者、知的障がいのある方、精神障がいのある方など判断能力が不十分で、親族などの援助が得られない方に対し、福祉サービス利用手続、日常生活の金銭管理や書類等の預かりサービスなどを行い、自立した地域生活を送れるよう日常生活を支援した。

<実績・効果等>

利用契約者	20人(3月末日現在)	※新規契約4人・解約5人	
内訳	認知症高齢者	4人、精神障がい者	9人、
	知的障がい者	5人、高次脳機能障害	2人
支援内容	金銭管理(銀行での預金引き出し)、書類預かり(通帳)		
実施日	各利用者につき、月1回程度		

6. 障がい者地域生活支援事業 【市補助事業】

障がいのある方の地域における生活を支えるため、当市の実情に合わせた各種サービスを実施した。

(1) スポーツレクリエーション事業

身体、知的に障がいのある方の社会参加促進を目的とし、スポーツレクリエーション事業への参加を支援した。

<実績・効果等>

- ・第19回全国障害者スポーツ大会（いきいき茨城ゆめ大会）リハーサル大会
開催日 令和元年5月26日（日）
場 所 笠松運動公園・フジ取手ボウル・ケーズデンキスタジアム
参加者数 知的障がい者15人
身体障がい者14人

(2) 点字・声の広報等事業

視覚に障がいのある方に対し、福祉技術ボランティアによる広報物などの点訳用紙や音訳CDを盲人用郵便物で郵送することで日常生活を支援した。

<実績・効果等>

- ・点訳 実 施 竜ヶ崎市点訳友の会
内 容 りゅうほー，時刻表，カレンダー
対象者 5人
- ・音訳 実 施 龍ヶ崎朗読の会
内 容 りゅうほー，しゃきょうだよりなど
対象者 9人

(3) 手話入門講座

聴覚に障がいのある方に対する理解を深め、社会参加の支援や、地域におけるボランティアの普及を目的として開催した。

<実績・効果等>

- 実施回数 10回
(令和元年5月15日から令和元年7月17日の間の毎週水曜日実施)
- 受講者数 20人

共同募金配分金事業 【自主事業】

1. 老人福祉活動事業

(1) シルバーカー助成事業

シルバーカーを購入した方に対し助成金を交付することにより、高齢者の日常生活の便宜を図るとともに健康及び福祉の増進に寄与することを目的とする。

- 対象 市内在住の65歳以上の高齢者
- 助成額 購入金額の2分の1（助成限度額5千円）

<実績・効果等>

- 助成件数 85件
- 助成金額 421,100円

(2) ふれ愛会食会事業

高齢者の外出への意欲向上と引きこもり防止を目的として、給食サービス利用者を招待し、会食会を開催することにより高齢者とボランティアとの交流を図った。

<実績・効果等>

第1回	開催日	令和元年6月4日(火)	会場	市民交流プラザ
	参加者	利用者26人・ボランティア20人		
第2回	開催日	令和元年10月31日(木)	会場	馴柴小学校
	参加者	利用者30人・ボランティア22人・馴柴小児童92人		

2. 障がい児・者福祉活動事業

(1) ふれ愛キャンプ（ボランティア連絡協議会との協働事業）

障がいのある人もない人もすべて平等という立場で、協働の一泊二日のキャンプを通してお互いにふれあい、理解を深めることを目的に開催した。

<実績・効果等>

開催日	令和元年8月3日(土)～4日(日)		
場 所	龍ヶ崎市森林公園		
参加者数	障がい児	19人	
	健常児	22人	
	ジュニアボランティア	17人	
	ボランティア	92人(26団体)	
	学生ボランティア	55人	

(2) ふれ愛広場（ボランティア連絡協議会との協働事業）

ボランティア団体の手作りによる文化と福祉を融合させた福祉まつりを開催し、市民の交流を通して障がいのある人とない人の相互理解とボランティア活動の普及啓発を図った。

<実績・効果等>

開催日	令和元年10月20日(日)		
場 所	龍ヶ崎市文化会館 ほか		
内 容	福祉体験, 障がい者スポーツ体験, 模擬店, バザー, タイムイベント など		
来場者	約4,500人		
ボランティア	531人(66団体)		
青少年ボランティア	11人		
協賛	42企業・団体・個人		

3. 児童・青少年福祉活動事業

チャイルドシート等購入助成事業

子育て支援の一環として、乗車中の幼児の安全確保及び経済的負担の軽減を図ることを目的とし、チャイルドシートを購入した世帯に対し、費用の一部を助成金として交付した。

対象	市内在住の2人以上の幼児の保護者
要件	第2子目以降の幼児が使用するために購入した場合(1世帯につき1台のみ)
助成額	購入金額の2分の1(助成限度額5千円)

<実績・効果等>

助成件数	52件
助成金額	235,900円

4. 福祉育成・援助活動事業

しゃきょうだより発行

当会の運営状況やボランティア活動、共同基金に関する依頼・報告等について広報活動を行うことで、当会の活動に対する理解と協力、ボランティア活動に対する参加促進を図る。また、地域活動の状況も積極的に掲載し、地域福祉の推進を図った。

<実績・効果等>

発行	全戸配布版	4回（6月・9月・1月・3月）	※32,000部
	班回覧版	2回（4月・11月）	※3,000部
主な内容	地域活動報告、事業案内（利用案内）、ボランティアサークル紹介、ふれ愛レシピ など		

5. ボランティア活動育成事業

福祉団体やボランティア団体を助成することにより、地域における市民活動の振興を図った。

<実績・効果等>

市ボランティア連絡協議会に助成を行うことで活動の振興を図った。

6. 歳末たすけあい事業

(1) ふれ愛クリスマス（ボランティア連絡協議会との協働事業）

障がいのある人もない人もすべて平等という立場で、レクリエーション等を通してお互いにふれあい、理解を深めることを目的に開催した。

<実績・効果等>

開催日	令和元年12月14日（土）		
場所	馴染コミュニティセンター		
内容	レクリエーション等		
参加者数	障がい児	12人	
	健常児	12人	
	ジュニアボランティア	14人	
	ボランティア	66人（4団体）	

(2) 歳末ふれ愛訪問事業

ひとり暮らしの高齢者への支援として、新年を迎えるにあたり伝統的なお節料理を宅配するとともに、年末の見守り活動を行った。

<実績・効果等>

開催日	令和元年12月27日（金）		
場所	龍ヶ崎市地域福祉会館		
宅配件数	170人		
ボランティア	調理	23人	宅配 41人

(3) 歳末地域たすけあい助成事業

共同基金事業の一環である「歳末たすけあい基金」を原資として、年末年始における市民の自主的なたすけあい・ささえあいの活動に対し助成し、やさしさ溢れるふれあいのまちづくりを推進した。

<実績・効果等>

助成件数 4件

助成金額 108,000円

いきがい交流事業 【自主事業】

1. 高齢者スポーツ大会（ボランティア連絡協議会協力事業）

ふるさとふれあい公園を有効活用し、「いばらきねんりんスポーツ大会」の予選会を兼ねたスポーツ大会を開催した。龍ヶ崎市長寿会連合会、龍ヶ崎市ボランティア連絡協議会の協力及び「福祉の店」の出店により大会の盛り上げを図った。

<実績・効果等>

名称 社会福祉協議会会長杯兼いばらきねんりんスポーツ大会2019

開催日 令和元年5月30日（木）

会場 ふるさとふれあい公園

競技種目 輪投げ、ゲートボール、グラウンドゴルフ、ペタンク

出場者数 367人

輪投げ (105人)

ゲートボール (6チーム 31人)

グラウンドゴルフ (102人)

ペタンク (43チーム 129人)

いばらきねんりんスポーツ大会 4種目 21人が出場

2. 花見会・芋煮会

長寿会連合会の協力により、施設利用者の交流を目的として実施した。

<実績・効果等>

【花見会】

開催日 平成31年4月4日（木）

会場 総合福祉センター（中庭・ロビー・集会室）

内容 総合福祉センター利用者を対象に、お茶やコーヒー等を無料で提供

来場者数 約110人

【芋煮会】

開催日 令和元年12月17日（火）

会場 総合福祉センター（中庭・ロビー・集会室）

内容 総合福祉センター利用者を対象に、芋煮汁を無料で提供

来場者数 約200人

3. 親子創作教室（陶芸・絵画）

ふるさとふれあい公園アトリエで活動する、絵画クラブ・陶芸クラブの協力により、就学児童の家庭を対象に親子参加型の教室を開催した。

<実績・効果等>

【陶芸教室】

開催日 令和元年8月22日(木)
会場 ふるさとふれあい公園 アトリエ創作室
参加者数 10組25人

【絵画教室】

開催日 令和元年8月27日(火)
会場 ふるさとふれあい公園 アトリエ創作室
参加者数 7組19人

4. 季節交流会

ふるさとふれあい公園アトリエで活動する各クラブや長寿会連合会の協力により、施設利用者の交流を目的として実施した。

<実績・効果等>

開催日 令和元年12月17日(火)
会場 ふるさとふれあい公園(屋外ステージ周辺)
内容 ふるさとふれあい公園利用者による花植え活動を行い環境美化に努め、芋煮を無料で提供した。
来場者数 15人

在宅福祉サービス事業 【市補助事業】

高齢や障がいのため日常生活を送る上で支障がある方に対する支援を目的とし、会員制(利用会員、協力会員)による家事援助等の有償在宅福祉サービスを実施した。

サービス時間 月曜日～土曜日(日曜日、祝日、年末年始は休業)
午前9時～午後5時(1回2時間以内で週12時間を限度)
主なサービス 食事の支度、衣類の洗濯・補修、居室の掃除、整理など
利用料 1時間あたり650円

<実績・効果等>

登録人数 利用会員 8人 / 協力会員 8人
活動状況 延訪問回数 132回 / 延時間数 132時間

地域ケアシステム推進事業 【市委託事業】

保健・医療・福祉の関係者の連携に基づき、高齢者や障がいのあ方等が総合的かつ効果的に各種福祉サービスを受けられるよう必要な援助を行い、要援護者が住み慣れた家庭や地域の中で安心して暮らせるよう支援した。

また、障がい者に対する理解を深めるためのボランティア基礎講座を開催した。

<実績・効果等>

会 議

- ・ ケース検討会議（クイック会議） 25回
- ・ 在宅ケアチーム数 7チーム（3月末現在）
- ・ ケース訪問回数 延べ 103回

相談件数 延べ 241件

ボランティア基礎講座

- ・ 第1回 演 題 「ろう者は今！」
講師：龍ヶ崎市聴覚障害者協会
菊地友紀子 氏 / 上野直子 氏
コーディネーター 佐藤たまき 氏
開催日 令和元年7月24日（水）
参加者 59人
- ・ 第2回 演 題 「盲導犬とわたし～視覚障がい者からみた日常～」
講 師 牛久市障害者連合会 副会長/牛久市視覚障害者協会 会長
/日本盲導犬協会ユーザーの会 理事 福田 進久 氏
開催日 令和元年12月19日（木）
参加者 35人

※ 第3回として、令和2年3月29日に「災害ボランティア研修会」を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により中止とした。

各種協議会への参加

- ・ 障がい者自立支援協議会への参加（地域居住支援部会に所属）
- ・ 在宅医療・介護連携推進会議への参加

元気サロン松葉館運営事業 【市委託事業】

高齢者の生きがいがづくりや健康づくりなどを目的とした各種事業を実施するサロンを運営した。

<実績・効果等>

開設日 219日

利用者 429人（延23, 120人 / 1日平均 105.6人）

- ・ はつらつサロン（太極拳、書道、俳句、詩吟、歌、手芸、絵手紙、写真、折り紙、囲碁、いきいきヘルス体操、元気アップ体操、ラージボール卓球、健康マージャン、おしゃべり会、ドミノ、思い出を語ろうかい）

延参加人数 20,845人

- ・ 利用者同士の交流…3回実施、延参加者数 101人
- ・ 松葉小児童・学童ルーム利用児との交流…4回実施、延参加者数 67人
- ・ 施設管理（館内掃除、除草作業）…2回実施、延参加者数 58人
- ・ 避難訓練…2回実施、延参加者数 82人

敬老会事業 【市補助事業】

長年、地域の発展に寄与された高齢の市民に対し、感謝の意をもってその長寿をお祝いするとともに、敬老思想と高齢者福祉の意識高揚を図る目的として式典を開催した。

<実績・効果等>

開催日 令和元年9月16日(月)
会場 龍ヶ崎市文化会館
内容 記念式典, 芸能発表, 記念品贈呈
招待者数 10,366人

総合福祉センター運営事業 【指定管理事業】

龍ヶ崎市より指定を受け、指定管理者として龍ヶ崎市総合福祉センターの管理及び運営を行い、高齢者の自立的生活の援助、機能の向上を図ることを目的に各種福祉事業を実施した。

(1) 高齢者福祉センター事業

高齢者に対して健康増進・介護予防、教養・趣味活動、レクリエーション等に関することを総合的に供与し、高齢者が健康で明るい生活を送り、生きがいを高めることができるよう各種事業を実施した。

施設・設備 大浴場, 集会室, 教養娯楽室, 多目的室, ロビー(くつろぎスペース)
事業 相談事業・介護予防事業, 趣味教養活動 など

<実績・効果等>

開館日数 309日
センター延利用者数 36,666人
(個人 29,437人/団体 7,229人)
※1日平均119人
60歳未満市内居住者 75人
60歳以上市内居住者 34,612人
60歳以上市外居住者 1,979人

【クラブ活動利用者数】

舞踊	212人	詩吟	12人
民謡	132人	囲碁	1,455人
俳句	172人	カラオケ	95人
フォークダンス	279人	健康マーじゃん	1,866人
つるし雛	44人	手芸	33人
卓球	270人		

【団体活動利用者数】

思い出を語ろうかい	179人
長寿会連合会	798人
その他	1,140人

【いきいきヘルス体操】

延参加者数 542人

(2) 長寿会事業

高齢者が仲間づくりをしながら各種活動を通して地域に貢献し、生きがいを高めることを目的に事業を実施する。

事業 長寿大学, 野外学習, 高齢者スポーツ大会, 単位長寿会会長・女性会員交流会, 健康マージャン交流大会, カラオケ交流会, 奉仕作業, 高齢者作品展, 役員・会員研修

<実績・効果等>

【本部】

理事会 13回開催
奉仕作業 4回 (参加者 410人)
単位長寿会会長会議 (参加者 62人)
女性会員交流会 (参加者 61人)

【文化部会】

会議 12回
長寿大学 11回 (受講生 542人)
健康マージャン交流大会 (出場者 61人)
カラオケ交流会 (出場者 60組)

【体育部会】

会議 7回開催
高齢者スポーツ大会
・ 輪投げ 5月23日 (木) (出場者 349人)
10月10日 (木) (出場者 351人)
・ ゲートボール 9月26日 (木) (出場者 60人)
・ グラウンドゴルフ 6月6日 (木) (出場者 180人)
10月17日 (木) (出場者 207人)
・ ペタンク 6月13日 (木) (出場者 279人)
10月31日 (木) (出場者 288人)

【高齢者スポーツルール研修会】

輪投げ・ペタンク・グラウンドゴルフ (参加者 61人)

【いばらきねんりんスポーツ大会】

4種目 21人が出場

【顕彰】

第58回茨城県老人クラブ大会 (被顕彰者 2名)

地域福祉会館管理事業 【市補助事業】

龍ヶ崎市地域福祉会館の維持管理を行い、福祉活動の拠点施設としての有効な運営を図った。

<実績・効果等>

龍ヶ崎市より受託し、施設・設備の維持管理及び貸出管理を行ったところ、会議や研修会、また各種福祉事業の会場として活用された。

施設 相談室, ボランティアセンター, 会議室, 調理室, 録音室

佐貫西口支所運営事業 【市補助事業】

社会福祉協議会の新たな拠点として、地域の結びつきを育み、地域住民が集い健康づくり、仲間づくり、生きがいくりの場として活用してもらえよう事業を企画・実施し、効果的なPRを図りながら運営を行った。

<実績・効果等>

支所 開設日数 212日（令和元年7月5日～令和2年3月31日）

延利用者数 2,464人
（受付・案内 620件 / 福祉・生活相談 19件 /
ボランティア相談 21件 / 車椅子貸出 9件 /
ふれ愛ネット 5件 / 社協会費・共募 8件 /
商品販売 1,330件 / その他 452件）

談話室 開設日数 192日（令和元年7月8日～令和2年3月9日）

延利用者数 1,511人（個人 1,163人 / 青少年 96人 /
団体 116人 / その他 136人）

多目的室 開設日数 184日（令和元年7月8日～令和2年2月28日）

延利用者数 2,519人（124団体）

- ・将棋（毎週月曜日） ・囲碁（毎週火曜日）
- ・いきいきヘルス体操（毎週水曜日） ・健康マージャン（毎週木曜日）
- ・童謡の会（毎月第2・4土曜日）

障害福祉サービス事業 【市補助事業】

1. 障害福祉サービス事業所ひまわり園

障害者総合支援法の規定に基づき、茨城県知事の指定を受けた障害福祉サービス事業所の運営を行った。

<実績・効果等>

在宅の知的に障がいのある方の利用事業所として、個々の能力、特性に応じ、その可能性を十分に伸張することで家庭や地域生活の自立を支援した。

開設日数 240日

延利用者数(合計) 8,937人

【生活介護】 利用契約者数 32人 延利用者数 6,075人

【自立訓練（生活訓練）】 利用契約者数 0人 延利用者数 0人

【就労移行支援】 利用契約者数 1人 延利用者数 16人

【就労継続支援B型】 利用契約者数 13人 延利用者数 2,846人

【共通サービス】 入浴サービス 488人 送迎サービス 15,269人

給食サービス 8,501人

【日中一時支援事業】 開設日数 291日

延利用者数 1,122人

（身体障がい者43人・知的障がい者1,079人）

2. 障害福祉サービス事業所あざみ

障害者総合支援法の規定に基づき、茨城県知事の指定を受けた障害福祉サービス事業所の運営を行った。

<実績・効果等>

在宅の身体に障がいのある方の利用事業所として、身体機能・生活能力の維持向上の訓練や日常生活の相談支援を行った。

開設日数 240日

延利用者数（合計） 2,266人

【生活介護】	利用契約者数	16人	延利用者数	2,266人
【共通サービス】	送迎サービス	4,291人	給食サービス	2,065人
	スポーツレク	1,479人	健康指導	660人
	創作的活動	799人	口腔ケア支援	94人
	社会適応訓練	935人		

3. 指定特定相談支援事業

障害者総合支援法の規定に基づくサービス利用計画に関する相談及び作成、また、障がい児・者の抱える課題の解決、適切なサービス利用のためのケアマネジメント等、きめ細かな対応により障がい児・者の自立生活を支援した。

<実績・効果等>

現契約者数（合計） 133人

（身体障がい者 44人・知的障がい者78人・精神障がい者2人・障がい児9人）

【サービス利用支援】

障害福祉サービス等を申請した障がい児・者について、その心身の状況、置かれている環境等を勘案し、サービス等利用計画案を作成した。また、支給決定後においては、当該決定の内容を反映したサービス等利用計画書を作成した。

サービス計画案作成件数 24件

【継続サービス利用支援】

サービス等利用計画が適切であるかどうかを一定期間ごとに検証し、その結果を勘案し利用計画の見直しと変更を行った。

モニタリング報告書作成件数 301件

ふるさとふれあい公園運営事業 【指定管理事業】

龍ケ崎市より指定管理者として指定を受け、龍ケ崎市ふるさとふれあい公園の管理運営を行っている。また、市民が自然の中で創作活動やスポーツを楽しむ憩いの場として、利便性の向上に努めた。

施設 アトリエ和室工作室及び窯室、ゲートボール場、多目的グラウンド、ディスクゴルフ場、グラウンドゴルフ場、野外ステージ など

<実績・効果等>

開設日数 307日

延利用者数 42,592人

(内訳) ・アトリエ (クラブ活動)

陶芸 1,563人 絵画 172人

きり絵 85人 パッチワーク 195人

俳句クラブ 18人

・アトリエ 工作室 (一般) 399人

・アトリエ 和室 (一般) 394人

・ゲートボール場 3,771人

・多目的グラウンド 11,303人

・ディスクゴルフ場 7,194人

・野外ステージ 13,141人

・グラウンドゴルフ場 4,357人

障がい者自立化支援事業 【自主事業】

障がいのある方にとって、販売経験を重ね市民との交流を深める機会を得ることは有意義な社会的活動である。当該活動が障がい者福祉に対する啓発活動の一助となることを期待し、各事業を実施した。

1. 福祉の店ひまわり

龍ヶ崎市森林公園内に設置した「福祉の店ひまわり」にて販売実習を実施した。

<実績・効果等>

営業日 148日間

火～日曜日営業 ※ 但し、7/20 (土)～8/31 (土)は毎日営業

実習生 4人

ボランティア支援協力：送迎

2. Cafe たつのこ

龍ヶ崎市総合体育館 (たつのこアリーナ) 内に設置した「Cafe たつのこ」において、喫茶コーナー及び物販コーナーの運営により販売実習の場を提供した。

<実績・効果等>

営業日 289日間

火～日曜日営業 ※ 但し、7/20 (土)～8/31 (土)は毎日営業

実習生 2人

ボランティア支援協力：日中サポート

3. 福祉の店りゅう

中央支所に併設した「福祉の店りゅう」の運営により販売実習の場を提供した。

<実績・効果等>

営業日 285日間

実習生 6人

ボランティア支援協力：日中サポート

・福祉の店移動販売

各地域を拠点とし、地元農作物や米、食料品などをステーション方式により販売した。

<実績・効果等>

実施日 1 1 2 日間

実習生 6 人

販売拠点 各コミュニティセンター，長寿会スポーツ大会

4. 福祉の名刺屋さん

名刺を市内の公共機関，民間事業所，個人等から幅広く受注し，専門機材を用いて作成し，販売した。

<実績・効果等>

実施日 毎週水曜日(作成作業)

実習生 2 人

受注件数 4 1 1 ケース